

9. 間接的な成果の認知

- | | |
|------|---|
| (29) | 「事業参加者を介して他の住民に活動が波及していること」を取組成果として認識する |
| (30) | 「今までとは違った関係者や、様々な領域からの参加といった、事業参加者の広がり」を取組成果として認識する |
| (31) | 「事業を通して築かれた住民や関係者との関係を他の活動にも生かしていること」を取組成果として意識する |

事例9：保健所において、思春期保健事業を引き継いだ山田保健師の話

(事例9-1)

5年前に、エイズ教育について養護教諭から要望があり、管内の中学校4校で講演会を実施した。この4校はエイズ教育に関心の高い養護教諭のいる学校であった。保健所としては、関心の高い学校だけでやっても市全体には普及していかないと考え、翌年度に養護教諭同士の情報交換会を始めたところ、エイズ教育への関心が広まり、希望する小中学校が増えてきた。

保健所の実施体制としては、当初は、エイズ教育ということで疾病対策の担当課が事業を実施していたが、小学校に拡大していくにあたり、疾病対策ではなく思春期保健という位置づけで行うことになり、地域保健を推進する担当部署に変わった。実施にあたっては、これまでの経緯を把握している前任課と一緒に話し合いながら遂行している。

現在、養護教諭同士の情報交換会は年に1回実施し、講演会を実施した学校は、中学校6校、小学校15校になった。

その一方で、養護教諭同士の情報交換会の中では、「養護教諭に意欲があっても、教育委員会や学校に反対され、講演会を行いたくてもできない」という声があがっている。

この事業を引き継いだ山田保健師は、まだまだ講演会が行なえていない学校があることを実感し、どうすれば意欲のある養護教諭が、自分の学校で講演会が実施できるのだろうかと考え、先輩保健師に相談した。

【設問 9-1】先輩保健師の立場から

相談を受けた先輩保健師は、上記の3項目のどれを意識して、山田保健師にどのような助言をしますか？

～回答例：項目(30)を意識して～

先輩保健師は、技術項目(30)「『今までとは違った関係者や、様々な領域からの参加といった、事業参加者の広がり』を取組成果として認識する」ことを意識し、「この事業を多くの学校に広めていくためには、養護教諭だけでなくこれまで講演会をやっていない学校関係者の人たちや教育委員会、そして地域の人たちにこの事業のことを知ってもらって協力が得られるようにしていく必要があるのではないか」と山田保健師に伝えた。

先輩保健師からの助言を受けて、山田保健師は、思春期教育を地域の課題として取り組むことができるように、思春期保健関係者の勉強会を立ち上げることにした。多くの関係者に声をかけたところ、これまで講演会を実施した学校の先生や教育委員会の担当者、民生委員から参加希望があり驚いた。先輩保健師は、「これまでいくつかの学校で取り組んできたから、学校の先生たちや地域の人たちも関心が高まっているのかもしれないね。これも成果の一つだよ。ここからまた広がっていくといいよね。」と山田保健師を励ました。

(事例9-2)

思春期保健関係者の勉強会において「学校で性教育を行った場合、子どもは家に帰って、保護者に話をする。それを受け止めてくれる保護者が必要ではないか。」という意見が出た。

【設問 9-2】山田保健師の立場から

山田保健師として、上記の3項目のどの項目を意識して、どのように取り組みますか？

～回答例：項目(29)を意識して～

山田保健師は、まずは、保護者自身が子どもと性について話をしているか、話す場合はどのようなことに悩んでいるのか、を知ることが大切だと考え、管内の小中学校全校で、保護者アンケートを実施した。その結果、いくつかの学校の保護者から、学校で習ったという命の大切さについて家で話し合ったことがあるという回答がみられ、技術項目(29)「『事業参加者を介して他の住民に活動が波及していること』を取組成果として認識する」ことを行った。一方で性のことについてはなかなか話せない、どう話したらよいかわからないと困っている保護者が多いこともわかった。山田保健師は、このアンケート結果を思春期保健関係者の勉強会でも共有し、小学校で保護者向け講演会を実施することにした。

(事例9-3)

山田保健師の上司(保健師)は、勉強会を立ち上げた時から、見守っていた。上司がその勉強会に参加してみると、最初に講演会を実施した中学校の教頭がいることがわかった。その教頭は、現在は市の教育委員会の指導主事として参加していた。上司は、指導主事に当時のお礼とともに「本事業を知っている方が勉強会にも参加していただいていることはとても心強い。」と伝えた。指導主事は「あの時の事業が、1回限りで終わらず、こうやって、地域全体に広げようと保健師さんが頑張って勉強会も開催していることは、すごいことだと思う。これからもぜひ協力したい。」と語った。

【設問 9-3】山田保健師の上司の立場から

上司として、上記の3項目のどれを意識して、山田保健師にどのように関わりますか？

～回答例：項目(31)を意識して～

山田保健師の上司は、技術項目(31)「『事業を通して築かれた住民や関係者との関係を他の活動にも生かしていること』を取組成果として意識する」ことを意識し、山田保健師に、「教育委員会の指導主事は、最初に講演会実施した中学校の元教頭であること。その指導主事から、思春期保健の取組がこの地域で発展してきていることはすごいことだと、お褒めの言葉をいただいたこと。山田保健師の取り組みが評価されている証拠だよ。」と伝えた。山田保健師は、本事業を引き継いで、勉強会も立ち上げたことが他者から評価され嬉しくなるとともに、こんなふうな事業を通して築いた関係が、地域の力になっていくことを実感した。